

村民と 福島大学 行政経営学類 大黒ゼミ生が一緒に開く

開店

いたて村の

村民食堂

2023



通常版は毎月第4金曜日開催!

■ 開店日 (通常版)

※2月は第3金曜日開催です。

- 6月23日(金)・7月28日(金)
 - 8月25日(金)・9月22日(金)
 - 10月27日(金)・11月24日(金)
 - 12月22日(金)・1月26日(金)
 - 2月16日(金)・3月22日(金)
- 時間 11時～15時 (ラストオーダー14時)

メニューは一つ!

飯館村の日常食

一汁一菜膳 500円

漬物・みそ汁・おこわ二種 ※限定30食



スピノフ企画も開催予定! 日程はホームページや Instagram をご確認ください。

場所までいな家

〒960-1892 \ 役場隣り / 飯館村伊丹沢字伊丹沢 578 番地 1

※会場は変更となる場合がございます。ホームページで随時お知らせいたします。



いいたて村の 村民食堂

「いいたて村の村民食堂」は、村民と福島大学行政政策学類大黒ゼミ生と一緒にあって、飯館の「食」の伝統を守りながら、新しいことにチャレンジする食堂を目指します！

おこわとみそ汁の香り。漬物をかじったときの音。食べるとほっとする飯館の日常食を、「一汁一菜膳」（漬物、みそ汁、おこわ飯二種）として気軽に楽しめる食堂が村民食堂です。梅干しや味噌漬けなど、季節によって変わる「二菜」が食事の真ん中にある食の伝統を、村のばーちゃんたちと学生と一緒にあって、これからも、大切に守っていきます。

そして、私たちはさらなるチャレンジも。村民食堂は、一汁一菜膳のほかにも、スピントフとしてさまざまな食の提供を企画しています。

たとえば、飯館にやってくる海外の友人たちが故郷で食べてきた普段食。学生たちの出身地、全国各地のご当地食。飯館に移住してきた方や、飯館を応援したい人たちの自慢のメニューなど。飯館村への移住を考える方々が、お試しで開く一日限定食堂も予定しています。

詳しくはホームページまたはInstagramをご覧ください。

村の方も、村にやってくる方々にも、気軽に飯館の「食」を楽しんでいただける村民食堂を目指します。

通常開催

村のおばあちゃんと大学生が一緒になって作ります。

村で昔からつくられてきた漬物を中心におこわとお味噌汁がつく

「一汁一菜膳」をお出しします。

スピントフ開催

通常開催の他に様々な「食」の提供にチャレンジするスピントフ企画。

飯館村にゆかりのある様々な方とコラボした「食」をご提供します。

村民の方や「飯館に移住したい！」「応援したい！」「お店をやってみたい！」という方など：

こちらは不定期開催です。

開催情報はホームページまたはInstagramをご覧ください。

募集

食堂を使って

お試しでお店を開いて

みたい方、「食」で飯館村を

応援したい方募集！

詳細はお問い合わせください。

ホームページ



Instagram



「までいな暮らし普及センター」

場所 **までいな家**

〒960-1892 \役場隣り/
飯館村伊丹沢字伊丹沢 578 番地 1

※会場は変更となる場合がございます。ホームページで随時お知らせいたします。

一緒に作って、
一緒に食べよう！



主催 一般財団法人飯館までいな文化事業団 協力 福島大学行政政策学類大黒ゼミ

お問い合わせ 一般財団法人 飯館までいな文化事業団 事務局 tarotaro@furusato-bunka.jp

このチラシは福島県「令和5年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助金の交付を受けて作成しています